

障害者支援施設 伏野つばさ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、すべての利用者の人権と尊厳を守り、自立した生活を地域社会で営むことを基本とし、個別支援計画に基づき、利用者の希望に沿ったその人らしい生活ができるよう支援する。

また、健康管理等に十分配慮しつつ、生産（就労）活動を通じて社会の一員としての役割を担い「自信と誇りを持って暮らせる」よう、障がい者の地域生活を支える。

2 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

（1）入所者状況

（人）

利用人数		前年度末利用者数	令和4年度中の入退所状況										利用延人員	定員に対する年間平均稼働率	年度末利用者数	
			入所人員	退所人員	退所理由別						サービス変更	他				
					地域移行 GH	アパート等	家庭復帰	施設移管	死亡	就職						
継続B型	125	132	2	20	0	0	0	0	0	0	1	4	15	21,002	71.2%	114
内はまなす作業所	35	38	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9,337	113.0%	44
内さきゅう作業所	20	14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,280	55.2%	—
生活介護	40	26	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7,551	70.2%	49
施設入所	40	38	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13,800	94.5%	39
【旧あさひ園】																
3 年 度	継続B型	84	102	1	9	0	0	0	5	0	0	3	1	17,050	83.2%	94
	内さきゅう	20	18	0	4	0	0	0	3	0	0	0	1	3,918	80.3%	14
	生活訓練	6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	532	36.3%	4
	施設入所	30	12	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	3,929	35.9%	10
【旧白兔はまなす園】																
	継続B型	50	41	1	4	0	0	0	1	0	0	1	2	10,217	80.0%	38
	生活介護	24	28	1	3	0	0	0	1	1	0	0	1	5,727	98.2%	26
	施設入所	35	32	0	4	1	0	0	1	1	0	0	1	8,888	73.3%	28

※さきゅう作業所については、令和4年9月30日までの数値

（2）障害支援区分

①就労継続B型

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・難関	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	24	3	16	23	13	3	0	82
内はまなす	4	2	9	8	5	1	0	29
女性	15	0	3	12	1	1	0	32
内はまなす	9	0	1	4	1	0	0	15
計	39	3	19	35	14	4	0	114
内はまなす	13	2	10	12	6	1	0	44

③生活介護

性別	障害支援区分							計
	無・難当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	5	11	13	3	0	32
女性	0	0	2	9	6	0	0	17
計	0	0	7	20	19	3	0	49

④施設入所支援

(人)

性別	障害支援区分							計
	無・難当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	1	3	11	10	3	0	28
女性	0	0	2	5	4	0	0	11
計	0	1	5	16	14	3	0	39

3 事業の実施状況

(1) 新施設移行後の円滑な運営

施設入所支援、生活介護は、新施設での活動が主となるため、日課の設定、説明、個別支援の共有等を行いながら落ち着いた生活が送れるよう支援を行った。コロナ禍の中、楽しみが限られたが、食事会や、移動販売車の利用など潤いのある生活を提供した。

大きな問題等もなく、スムーズに移行し、生活・活動を提供している。就労継続支援B型については、作業班の再編を行い、利用者、職員ともに効率的に作業等が行えるようにした。

また、送迎の再編を行い、安全かつ快適に送迎サービスが提供できるようにした。

新施設を情報発信することにより、施設入所、短期入所の希望者の見学をたくさん受け入れることができた。新規の入所利用者、短期入所利用者を獲得した。

(2) 作業班等の再編検討

ア 法人内での作業班連携とまではいかなかったが、さきゅう班、はまなす作業所受託班の移転等に取り組んだ。利用者のニーズに沿った作業提供については、多種多様な作業種を強みとして、日中活動の充実につなげた。

イ 自主生産部門については、パン工房あさひと菓子工房はまなす、茶房あさひの協働を検討した。利用者への作業提供や職員配置について効率的な配置を検討中。

コロナ禍において、販売等伸び悩んだが、新商品開発や、新メニューも検討され利用者への作業提供と営業努力も行った。

ウ 生活介護事業については、利用者増を目指すところであるが、活動室が手狭となり、レイアウト変更にて活動スペースを広げたが、十分とはいえない。今後、活動室の拡張も必要かと思われる。

余暇活動や機能訓練を取り入れ潤いのある日中活動提供に努めた。また、芸術活動を取り入れ、あいサポートアート展への展示やタートルズ個展（百花堂ギャラリー）を行った。

就労継続支援B型利用者の、高齢化問題もあり、作業班を再編し、日課の充実と平均工賃アップを目指すところであるが今後検討を継続。

エ 受託作業班は、再編・移転等を検討し、9月15日より、さきゅう班を湖山町東から、伏野つばさ園内の旧食堂を一部改修し移転した。希望者へは給食提供できるようになり、昼食の満足度が上がった。

また、はまなす作業所内の受託班を11月15日より、伏野つばさ園内の旧和紙班あとに移転した。昼食は、はまなす作業所での提供としている。

(3) 工賃の目標

ア 自主生産作業については、職員の退職等もあり製造販売面では多忙な毎日となっているが、工賃への反映は、月によりばらつきがある。施設外就労については、高工賃を目指しているところであるが、実現できている部分もあり、今後も継続していきたい。

目標平均工賃15,000円以上を目指したが、結果13,600円と下回った。

イ 購入物品の検討、修繕を行い節約等、作業にかかる経費の削減に努めたが、燃料費の高騰等により吸収しきれないところも見られた。

コロナ禍により菓子やパンの外販の制限や感染症対策による休業等があり苦慮したところであったが、最近では、以前の状態を取り戻しつつある。

ウ 工賃支給について、検討を重ねながらメリハリのある工賃支給を目指しているところで、ある程度実現はできたが、まだ利用者への適正な工賃分配方法には検討が必要などころである。適正な工賃配分を定着させ、就労意欲の向上へと繋げたい。

(4) 利用者支援の充実

ア モニタリング、アセスメントに重点を置き、本人や家族のニーズに基づいた個別支援計画の作成に努めた。PDCAサイクルにより、目標達成に向けた支援を行った。

イ 嘱託医、協力医療機関と連携し、各種検診を実施し、成人病等の早期発見・治療につなげた。マスクの着用、手指消毒、換気等により、かぜやインフルエンザは防げたが、新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年であった。クラスターもあり、保健所の指導も受けた。

ウ 個人研修計画を元に、希望に添った研修に参加できるよう配慮した。

コロナ禍においてはオンライン研修となり、利便性はあるが、対面による研修のような刺激がなく、今後、平常に戻ることを期待する。園内研修は最低限となり、次年度は工夫を凝らして研修に取り組みたい。

(5) 経営の効率化

ア 生産活動において原材料・諸経費の削減を意識し、経営の効率化を図る。職員会議・主査会において、予算執行状況や作業収入・稼働率の説明を行い、職員が経営意識を持つことが出来るよう情報提供を行った。SNSを活用し、情報公開・PRに努め収入アップを図った。

イ 特別支援学校・医療機関・相談支援事業所と連携を図り、地域における在宅障がい者や入院中の障がい者の見学・実習を積極的に受入れ新規通所利用者の確保に努めた。

目標稼働率〔就労継続支援B型：71.2%（目標95%）、生活介護：70.2%（目標93%）、施設入所支援：94.5%（目標97%）

(6) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

ア アート作品の展示会は行うことが出来たが、イベント時のパン、菓子の販売等は、コロナ禍のため実現できなかった。

イ 「きれいにし隊」を組織し、年2回地域内周辺主要道路やJR末恒駅周辺の清掃を行った。

ウ 地域利用者の支援は、事業で行うことができたが、菓子教室、パン教室、地域相談等はコロナ禍のため、行うことができなかった。末恒小学校との交流はコロナ禍のため実施されず。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
社会福祉士実習	5月	1人	5人
鳥取短期大学	6、8、10月	8人	88人
計		9人	93人

(2) ボランティアの受入実績

実績なし

5 附帯事業

- (1) 短期入所事業 定員 4人
 (2) 日中一時支援事業 定員 上記同様
 (3) 利用実績 (人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
短期入所事業(宿泊有)	12	228	4	68
日中一時支援事業	0	0	0	0

6 就労支援事業の実績

作業班	4年度目標額	実績額 (前年度実績)	達成率	作業の内容
受託作業班	5,500,000円	5,914,048円 (5,290,982円)	107.5%	部品加工袋詰め、おしぼり加工、端子加工等
はまなす作業所	4,000,000円	3,172,030円 (4,637,116円)	79.3%	ペットフードの袋詰め等
さきゅう作業所 (さきゅう班)	2,000,000円	2,095,986円 (2,281,448円)	104.8%	弁当箱蓋組立、シール貼り、紙器組立等
園外班	10,140,000円	9,625,278円 (あさひ 7,643,772円) (はまなす 5,092,046円)	94.9%	企業内清掃作業、木工作业、除草・墓石清掃等
菓子製造班	16,000,000円	13,424,157円 (15,151,832円)	83.9%	菓子製造販売
パン製造班	13,000,000円	12,643,347円 (11,818,329円)	97.3%	施設給食、受注パン製造販売
喫茶班	2,500,000円	1,487,510円 (2,132,790円)	59.5%	コーヒー、軽食等の販売、配達
計	53,140,000円	48,362,356円 (54,048,315円)	91.0%	